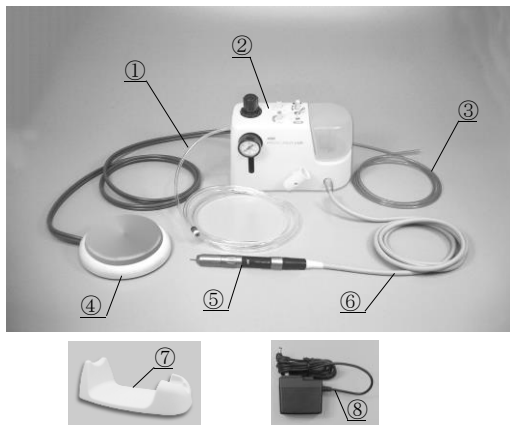


機械器具 61 歯科用ハンドピース
歯科技工用ガス圧式ハンドピース 70745000
一般医療機器

プレスト アクア LUX

**【形状・構造及び原理等】

1) 構造



各部の名称			
①	配管ホース	⑤	ハンドピース
②	ユニット	⑥	カップリングホース
③	水フィルターセット	⑦	ハンドピーススタンド
④	フットペダル	⑧	ACアダプター

2) 電気的定格及び機器の分類

＜ユニット＞

電源:5Vdc

電撃に対する保護の形式による分類:クラスⅡ機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類:B型機器

＜ACアダプター＞

入力:100 - 240Vac 50 - 60Hz 0.48A

出力:5Vdc 3A

3) 仕様

＜ユニット＞

空気消費量:30 - 40L/min(0.25 - 0.3MPa)

水压:0.1 - 0.3MPa

水量:0 - 45L/min

水温:0 - 40℃

＜ハンドピース＞

回転速度:320,000min⁻¹

適正給気圧:0.25 - 0.3MPa

使用バー:φ1.6mm スタンダードバー(ISO 1797-1 Type 3)

4) 動作保証条件

下記の条件にて使用すること。

温度:0 - 40℃

湿度:30 - 75%

5) 原理

コンプレッサーからの圧縮空気はユニットを介して圧力調整され、カップリングホースへ供給される。その圧縮空気がハンドピース内の給気パイプを経由し、ローターが回転し、その回転力をヘッドに取り付けたバーに伝える。また、本品には注水方式が2種類あり、水切換スイッチにより水制御部にて水道水又は水ボトルを選択する。コンプレッサーからのチップエア어가ユニットを介して流量調整され、水道水又は水ボトルからの水と共にハンドピースのホースへ供給され、その後、水及びチップエア어가、ハンドピース内の水、チップパイプを経由し、ヘッド先端から噴出する。更に本品は照明機能があり、LEDカップリングに内蔵されたLEDを点灯させ、それをグラスファイバーによりハンドピース先端へ導くことにより、切削部位を照明する。

**【使用目的又は効果】

歯科技工における陶歯、ポーセレン、セラミック等の精密技工を行う際、発熱を防ぎながら切削するために用いる。

**【使用方法等】

1) 使用前準備

- ① コンプレッサーからの配管ホースをユニットの配管コネクターに接続する。接続後、配管ホースが確実に接続されていることを確認する。
- ② フットペダルのホースをユニットにあるフットペダルコネクターへ接続する。
- ③ カップリングホースのユニット側コネクターリングをユニットにあるホースコネクターへ接続し、カップリングホースの中間ジョイント部をハンドピースへ接続する。
- ④ カップリングジョイントのリングを引いて、ハンドピースを取り付ける。
- ⑤ ハンドピース先端にバーを取り付ける。
- ⑥ 水ボトルを取り外し、蓋を開けて水を入れ、元の位置に差し込む。取り付け後、ボトル上部を軽く引いて確実に取り付けられていることを確認する。(水道水を使用する場合は、水道水からの水フィルターセットのホースをユニットに接続し、水切換ボタンを手前に引く。)
- ⑦ ACアダプターをユニット及び電源に接続する。

2) 使用方法

- ① エアーの元栓を開け、圧力ゲージによりレギュレーターつまみで給気圧を合わせる。
- ② 注水する場合は、水ON/OFFスイッチをONにし、水量調整つまみとチップエアア調整つまみにより、作業に適した注水状態に調整する。
- ③ ライトを点灯させる場合は、LED ON/OFFスイッチをONにする。光量を調整する場合は、LED調整つまみにより、作業に適した光量に調整する。
- ④ 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。
- ⑤ フットペダルを踏むことで、ハンドピースが作動し、使用できる。

3) 使用后

エアア及び水道水の元栓を閉める。

**【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・使用前点検時、又は使用中にガタ、振動、音、温度(発熱)等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止すること。
- ・振れ、曲がり、傷、シャンク部に摩耗の見られるバーは使用しないこと。
- ・給気圧は、0.25 - 0.3MPaを超えないように設定すること。
- ・本品は室温0℃から40℃の範囲内で結露のない状態で使用すること。
- ・ハンドピース回転中はチャック開放リングを回さないこと。
- ・装着するバーのシャンクは清潔なものを使用すること。
- ・ゴミ等の侵入を防ぐため、使用しない時もハンドピースにバー(テストバー含め)を装着しておくこと。
- ・ハンドピースのチャック清掃やカートリッジを交換する際は、ACアダプターをコンセントから取り外すか、又はハンドピースをカップリングホースから取り外して行うこと。

**【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ・バーの製造販売業者が指定する許容回転速度を超えて使用しないこと。
- ・切削時は、防護メガネ、研磨ボックス、バキューム等を使用すること。
- ・直射日光の当たらない場所で使用及び保管すること。[水ボトル、その他樹脂部品が劣化するおそれ]
- ・水ボトルに亀裂、白化等の劣化の兆候が見られる場合は、直ぐに使用を中止して新しい水ボトルに交換すること。[使用中、内圧により水ボトルが破損してけががするおそれ]

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・ハンドピースのチャック部分以外は絶対に注油しないこと。
- ・ユニットのフィルターボウル内に水滴や汚れが見られたら水抜きを行うこと。
- ・ユニットに水、切削油、消毒液などがつかないように注意すること。
- ・爆発の危険性のある室内、可燃物質の近辺では使用しないこと。
[爆発のおそれ]
- ・電磁波を発生させる機器の周辺で使用する場合、本品が誤作動を起こす可能性があるため、本品と他の機器が正常作動することを確認した上で使用すること。[作動に影響を受けるおそれ]

2) その他の注意

ハンドピース、ユニット、ACアダプターは落下させないこと。また、ユニットは必ず安定した場所に設置すること。

*【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法

下記の条件にて保管すること。

温度: -10 - 60℃

湿度: 10 - 85%

2) 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検(消耗品の交換)を行った場合に限り7年間[自己認証(当社データ)による]とする。

**【保守・点検に係る事項】

1) 清掃

<チャック>

超音波洗浄器等で洗浄後、ローター軸内部にオイルスプレー等を吹き付けてきれいに清掃する。

<ユニット>

フィルターボウル内に水が溜まっていた場合、水抜きする。

・清掃に関する注意

チャックは週に1度、ハンドピースから取り外して清掃すること。

2) 使用者による保守点検事項

<使用前点検>

本品を作動させ、ガタ、振動、音、温度(発熱)等に異常がないことを確認する。(毎回)

<消耗部品の交換>

- ① バーが抜けやすくなったり、チャックが破損した場合、チャックを新しいものと交換する。
- ② チャックの保持力が低下した場合、カートリッジを新しいものと交換する。
- ③ 水漏れやボトル用Oリングが劣化した場合、ボトル用Oリングを新しいものと交換する。
- ④ 水量が低下した場合、水フィルターを新しいものと交換する。
- ⑤ ACアダプターが損傷した場合、ACアダプターを新しいものと交換する。

3) 業者による保守点検事項

専用品である治具・測定器を使用した点検調整(1年に1回)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口



0120-7242-56

受付時間 9:00~17:00(土日・祝祭日を除く)

TEL:0289-64-3380

FAX:0289-62-5636